

地域プロジェクト（Ⅰ・Ⅱ）成果報告書  
 函館での第三国定住受け入れ促進プロジェクト  
 外国人住民への情報発信プロジェクト

1. 背景・目的・概要

背景：今年（平成 30 年）の春に、第三国定住制度を利用して難民が来日する可能性があった。しかし、難民のプロジェクトが始まったあとで、来日の可能性がなくなったため、函館に住んでいる外国人住民及び今後函館に移住してくる外国人を対象に生活情報の情報発信へと変更して実施した。

目的：函館での生活に役立つ情報を動画にして紹介することで、函館に住んでいる外国人及び移住してくる外国人の生活を支援する。

概要：前期

- ① ゴミ分別動画の作成、(1)絵コンテの作成→動画作成) →(2)函館日本語教育研究会（JTS）がおこなう日本語サロン参加に視聴してもらい評価を受ける。→(3)評価を踏まえたうえで、再度動画作成（市電の乗り方紹介動画）

後期

- ② ストップモーションを使った動画の作成に挑戦した。（緊急時の対応動画）  
 (1)絵コンテの作成→(2)小道具作成等の撮影準備→(3)動画撮影→編集  
 ③ 函館市の公共施設の紹介動画  
 (1)各施設へのアポ取り（函館市役所、青年センターなど）→(2)動画撮影→(3)編集

2. 年間スケジュール

<b>H29 10月</b>	第三国定住に関する学習会 動画テーマ選定①	<b>3月</b>	活動休止
<b>11月</b>	絵コンテ作成① ゴミ分別動画作成 JTS アンケート調査	<b>4月</b>	小道具製作 緊急時対応動画作成
<b>12月</b>	動画テーマ選定② 絵コンテ作成② 市電紹介動画作成	<b>5月</b>	緊急時対応動画作成(つづき) 動画テーマ選定④
<b>H30 1月</b>	成果発表会(中間発表)	<b>6月</b>	商業施設撮影許可取り(中止) 公共施設撮影許可取り 公共施設紹介動画作成
<b>2月</b>	動画テーマ選定③ 絵コンテ作成③	<b>7月</b>	成果発表会(最終発表)

### 3. プロセスと成果

#### ● 前期プロセス

##### ① 第三国定住についての学習

本地域プロジェクトの趣旨である第三国定住制度について学習し、理解を深めるとともに、難民の方々に発信する必要がある情報を整理した。

##### ② 絵コンテ作成

整理した情報を動画に収め、その作業を円滑に進めるために絵コンテを作成した。

##### ③ ゴミ分別動画撮影・編集

作成した絵コンテに従い、動画を撮影した。試験的であったために自分たちのペースで進行できる「函館のゴミ分別方法」をテーマとして選定した。撮影後に動画編集、ナレーション録音・挿入に加えて、外国人を対象としていたため、英語字幕を貼付した。なお、英語翻訳は本地域プロジェクトが行った。

##### ④ JTS（函館日本語教育研究会）でのアンケート調査

完成した動画に対して、外国人の方々から実際に評価を頂きたいと考え、JTSに協力してもらい、アンケート調査を実施した。またこの際、外国人の方々に需要のあるテーマのアンケートも集計した。

##### ⑤ 市電紹介動画の撮影・編集

④のアンケート結果から、2本目の動画は交通機関の利用方法をテーマに市電の乗り方を撮影した。撮影・編集手順は③ゴミ分別動画と同様である。

##### ⑥ 成果発表会準備

前期の活動を振り返り、ステージ発表用のPowerPoint、ポスター発表用のポスター準備を行った。

#### ● 後期プロセス

##### ① 地域プロジェクトテーマ対象を難民から外国人へ変更

##### ② 緊急時の対応動画の撮影・編集

前期にJTSの方々から集計したアンケートに緊急時（地震、火事、津波、事故、盗難）の対応の要望があったため、テーマを選定した。また、人間があまり映らない方が良いとの要望もあったため（火事等を実際に起こすことができないという理由もあるが）、建物などを折り紙で作成し、写真で撮影し、少しずつ動かすというストップモーションという方法で動画を撮影した。ナレーションや字幕はこれまで通りの方法で作成した。

##### ③ 商業施設への撮影許可依頼

④ 函館市にあるいくつかの商業施設を紹介する動画を撮影しようと話を進めていたが、大きな企業になればなるほど撮影許可依頼の手続きに時間がかかることを予想していなかった。その結果、期間内での撮影・編集が困難となり、商業施設の撮影を断念せざるを得なかった。

##### ⑤ 公共施設紹介動画

商業施設の撮影を断念したため、急遽、公共施設に撮影依頼をおこなった。急な依頼にもかかわらず

ず、函館市役所、函館公園、中央図書館、青年センターから許可をいただいた。ただし、他の施設利用者が写らないようにする必要があることと、Youtube などでの公開はできないこととなった。

撮影・編集手順は③ゴミ分別動画と同様である。

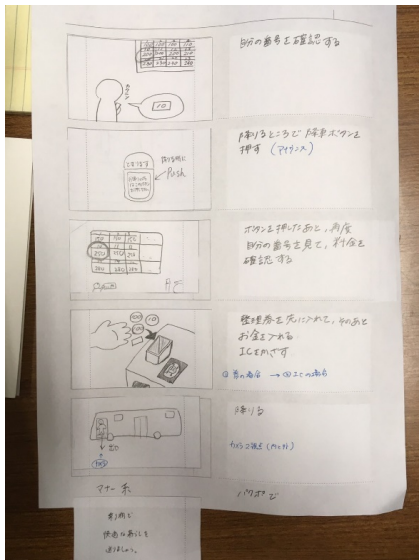
⑥ 成果発表会に向けての準備

動画の編集とポスターの作成をおこなった。

⑦ 公共施設紹介動画の編集作業と並行して、成果発表会準備を行った。ステージ発表用のPowerPoint、その原稿、ポスター発表用のポスター作成を分担し作業した。

●成果

- ・前期2本、後期2本計4本の動画を外国人の方々に向けて作成した。
- ・JTSの方々にアンケートを取ったことにより外国人のニーズに合った動画を作成できた。
- ・1年間通して動画編集を行ったことにより、効率的に編集することができた。
- ・留学生に英語翻訳の添削を協力してもらい、翻訳の正確性を高めた。



(撮影絵コンテ)



(ゴミの分別動画)



(市電の乗り方動画)



(函館市役所 外国人相談窓口紹介動画)

#### 4. 地域からの評価・今後の課題

前回のプロジェクトにおいて外国人の方々へのアンケート結果を踏まえて動画撮影を行うことができた。またストップモーションという新たな編集にも挑戦するなど前回よりも編集技術の向上がみられた。しかし、それ以前に対象とする施設の設定と撮影依頼手続きの見通しの甘さがあり、本来に必要とされる情報発信ができたか反省が残る。また、現地に撮影に赴く時間や動画の編集などで一部のメンバーに負担が荷重になるなど作業のマネジメントに問題があった。

情報発信については、作成した動画を公開するための工夫、英語以外の言語への対応をどうするか、発信した情報の評価をどう得ていくのかなどの課題が見えてきた。

#### 5 地域からの評価

前半の動画作成後は、JTSの方々（実際に日本で生活している外国人）動画をみてもらい、アンケート方式で評価してもらった。その結果動画のコンセプトに関してはプラスの評価を得ることができた。しかし英語訳や文化の違いからそもそもシナリオや行為自体に理解しにくい部分があるなどの声が上がった。ここでは後期の活動に生かすことのできるような生の声を聴くことができた。

最終的な評価方法として、Youtubeなどの動画投稿サイトを通してなるべくたくさんの人に見てもらい評価してもらうことを予定していたが、公開ができなかったため具体的な評価は得ていない。



#### 6. メンバー一覧

石黒順也・太田瑠実子・狩野正倫・佐藤さち・佐藤遥・高橋杏奈・藤森那弥  
担当教員：森谷康文